



4月11日・中山・3歳未勝利戦・ウィナーズサークル

小島友実の あの馬の STORY



アスコットヴェール

今回の主役は竹内正洋厩舎に所属するアスコットヴェールです。2024年1歳馬募集の特別提供馬。管理する竹内調教師がこの馬を最初に見たのは1歳の夏頃。その時の印象について師は「まだ華奢な印象でしたが、馬のバランスがすごく良かった」と振り返ります。

5月生まれという事もあって、夏場は北海道で調整されると、馬体が順調に成長。昨年10月に初入厩しました。竹内調教師は普段から管理馬に頻繁に臨んでおり、アスコットヴェールにも入厩当初から騎乗しています。

「初めて乗った際、バランスが前に行っている感じで、うまく収縮できないという印象でした。走りにも硬さがありましたね。ただ、走る事にすごく真面目だったのでその部分をうまく伸ばしてあげたいと思いました」

デビュー戦は、牝馬にしては馬格がある事や、走りが平均ペースだったので、タートの中距離が良いだろうとの考えから、昨年11月30日の東京タート16000以戦に決定。10番人気でしたが、2着に好走しました。

「調教では坂路で54秒くらいでまとまるような動きでしたから人気がありませんでしたね。ただ、タート練習はこも上手でしたし、流れには乗って行けるだろうと思っていました。実際のレースでは抜群のスタート。勝ち負けまではと想っていたので、想像以上に走ってくれました。実戦に行くとこの子の走りに対する気持ちの強さが出た。1勝目が見えたなと感じました」

続戦した12月20日の中山タート18000ではスムープに先頭に立ちましたが、2番手に来ていた馬に3コーナーから動かされる形となり6着。レース後は歩様に顕著な疲れが見られたため、ケイツ―へ放牧。2月18日に美浦トクセンへ帰厩。3戦目は中山タート18000が向かいだった。

「脚元を考慮し、3戦目に向けての追い切りはすべて坂路で行いました。レースでは3〜4コーナーのきびきびが上手いかなって、運がなかったですね。レース内容としては勝ちに等しい内容だったと思います」

その後はトモを中心に疲労が見られたものの、未勝利戦の時期に限りがある事から「権利がある中であるべく間隔を空けて調整することになり、中3週で4月11日の中山タート18000に出走。待望の初勝利を手に入れた。

「4戦目に向けての追い切りも坂路だけでした。状態は正直なんとか維持しているべらうの印象。でも気持ち強い子なので、強い調教は要らないと考えていました。調教を含めて初騎乗になった横山武騎手にはレース前、『内枠だし、タートを出て周りが行かないようなら逃げる選択肢もありです』と伝えていました。レース前はこの馬のペースで走ればなんとか勝ちもあるかなと思っていましたが、終わってみれば、逃げて15秒差の圧勝。それもノーステッキでしたから驚きました。スムープな競馬ができた事が一番良かったのかなと思います」

(このまでの成長や評価を伺いました。)

「初期に悪かった走りのバランスが良くなり、体も使えるようになってきて、ペースを上げていく時のギョウチエフジもだいぶスムープになってきています。素晴らしいなと思うのは、やっぱり気持ちの強さですね。レースへ行くとすべてを出す。平均的に脚を使えるのも強みですね」

課題をどう見ているのでしょうか。

「本重的には4700m台で数字としてはあるのですが、タート馬としては線が細い印象があります。もう少ししっかり体重が乗って実が入ってほしいですね。最後にメッセーをいただきます」

「状態面が良かったわけではない中で、あれだけの勝ち方をしてくれましたから、痛いところが無くなれば、もつと上のクラスに行けると感じます。中距離タートなら牝馬限定戦があるので、2勝クラスを抜けることも行けるのかな。3勝クラスくらいまでは好勝負を期待したいです。今後は状態次第で、7月か8月あたりでの復帰を想定しています。まだ弱いところが残っていますがその分伸びしろも大きい。痛いところをなくして、今後もしないようにならなければ、結果がついてくると思っています。長い目で応援していきます」

竹内調教師はこれまで、特別提供馬はルヴァンヴェールとサミラド、そしてこのアスコットヴェールを管理し、すべて勝ち上がっています。師は「グリーンファームさんとは相性が良いと思っています。感謝です。よね」と話していました。今後も注目していきたいです。

(5月8日：電話取材)

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2024年「馬場のすべて教えます2(主婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。